

# 郷土かみのかわの歴史・文化財

## 人物から見た上三川の歴史 北条氏政・氏直親子

関東の戦国大名で最もその領地を広げた一族というところ、小田原城を本拠地に置いた北条氏（後北条氏）でした。その四代目にあたる北条氏政の時には、関東のほとんどを領有し、全国的に見ても屈指の戦国大名となっていたのです。

氏政は、領地の拡大に努力する一方で、越後の上杉（長尾）氏や甲斐の武田氏との間で戦いや同盟を繰り返すなどの、巧みな外交戦略を展開しました。1564（永禄7）年には、第二次国府台合戦で里見氏を破り、房総半島への足がかりを作ると、1569（永禄12）年には、今川氏が弱体化した駿河の支配権を確立、やがて、関東で氏政に対抗する勢力は、常陸の佐竹氏、下野の宇都宮氏などを残すのみとなっていたのです。そして氏政から氏直に家督が継がれた2年後の1582年（天正10）年に、本能寺の変が発生すると、

関東で織田信長の軍勢を率いていた滝川一益は、北条氏との戦いに敗れるなどして京へ撤退し、北条氏はこの機会に一気に領土の拡大を進めたのです。

そして宇都宮氏との戦いの火ぶたは1584（天正12）年に切つて落とされました。下野や常陸狙う氏政の軍勢と、小山城奪還を狙う佐竹・宇都宮氏を中心とした軍勢は栃木市の沼尻で激突。戦いは100日以上に及び、引き分けとなりましたが、北条氏による下野侵攻は止むことなく、上三川の地も北条氏の攻勢にさらされました。1585（天正13）年7月、氏直の軍勢は一気に宇都宮城を落とそうと迫りますが、多功城の軍勢はこれを撃退、12月には、氏直とそれに与する壬生氏・那須氏が宇都宮を攻め、宇都宮市中の神社に火を放ち、一部の軍勢は多功城を攻めるも再び撃退するなど、多功城の活躍は目覚ましいものがありました。

宇都宮氏の苦境はその後も続きますが、佐竹氏や白河結城氏などとともに、豊臣秀吉と密接な外交関係構築しつつ、北条氏の攻勢に耐えつづけると、1589（天正17）年に

氏直が、豊臣秀吉が定めた大名間の私闘を禁じた惣無事令に違反し、真田氏の城を攻略したことをきっかけに、1590（天正18）年に秀吉による小田原征伐が開始。半年に及ぶ戦いの末、圧倒的な軍事力の前に、氏政・氏直親子は降伏し、小田原城を開城、氏政は切腹し、氏直は奈良高野山に追放され、関東の覇者北条氏の歴史は幕を閉じたのです。

戦国時代													西暦	年号	できごと
													1572	元龜3	多功勢、北条氏政の命令で、下野に侵入し多功城に押し寄せた北条氏・那須氏・房の軍と戦つた。
													1576	天正4	小山城が北条氏に攻略される。
													1577	天正5	北条氏が砥園城に大規模な普請を実施し、北関東侵攻の拠点とする。
													1578	天正6	上三川勢、多功勢、北条氏政に対するため佐竹軍勢・宇都宮・那須・下総結城氏の一員として常陸小川の原（筑西市）に出陣。北条氏は撤退。
													1579	天正7	この頃、宇都宮氏、佐竹氏、結城氏らとともに武田勝頼と連携し、北条氏と対抗。
													1581	天正9	宇都宮氏、反北条氏の立場から、佐竹氏、結城氏とともに徳川家康と連携。
													1582	天正10	本能寺の変。織田信長、京都本能寺にて自害。
													1583	天正11	この頃、宇都宮氏、上杉景勝、羽柴秀吉と連携し、北条氏と対抗。
													1584	天正12	北条氏直、栃木市沼尻、岩船山近辺で宇都宮・佐竹と110日間を渡つて対陣。
													1585	天正13	北条氏直が大軍を率い、一気に宇都宮に迫る。南方の前線である多功城では、北条軍を撃退する。
													1586	天正14	北条氏直、壬生義雄や那須備前と結び、数千の陣容で宇都宮城下に攻め入り、民家や一荒神社などの寺院等に火を放ち、一部は上三川多功に迫るも逃げ去る。
													1587	天正15	宇都宮氏、北条氏、那須氏、壬生氏との抗争激化。
													1588	天正16	佐竹義重、宇都宮国綱、結城晴勝の軍勢が壬生氏の鹿沼城・羽生田城・壬生城を攻撃。壬生氏救援のため北条氏直の軍勢が出陣し、大谷や宇都宮城まで宇都宮勢を押し返す。
													1589	天正17	豊臣秀吉、関東に惣無事令を発す。
													1590	天正18	北条氏、宇都宮城下付近まで進攻。
															豊臣秀吉、小田原北条氏の討伐を全国の大名に下す。
															宇都宮国綱、佐竹義宣とともに小田原にて秀吉に謁見。佐竹文書では、参礼した多功・上三川は毛馬を献上する。
															小田原開城、北条氏滅亡。
															豊臣秀吉、宇都宮に到着し、滞在する。